

重大(死亡)災害事例集

2019年6月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

重大(死亡)災害事例集 目次

～2017年～

事例No.	発生日	事故の型
No.1	2017年2月12日	有害物質との接触
No.2	2017年2月27日	墜落・転落
No.3	2017年3月29日	墜落・転落
No.4	2017年4月23日	挟まれ・巻き込まれ
No.5	2017年7月13日	飛来・落下
No.6	2017年8月27日	挟まれ・巻き込まれ

※2017年の重大災害のうち、現時点でなお調査継続中の案件については、掲載していない。

～2018年～

事例No.	発生日	事故の型
No.1	2018年2月13日	崩壊・倒壊
No.2	2018年3月3日	墜落・転落
No.3	2018年4月5日	挟まれ・巻き込まれ
No.4	2018年4月14日	有害物等との接触
No.5	2018年7月25日	墜落・転落
No.6	2018年10月22日	墜落
No.7	2018年11月12日	挟まれ・巻き込まれ

※2018年の重大災害のうち、現時点でなお調査継続中の案件については、掲載していない。

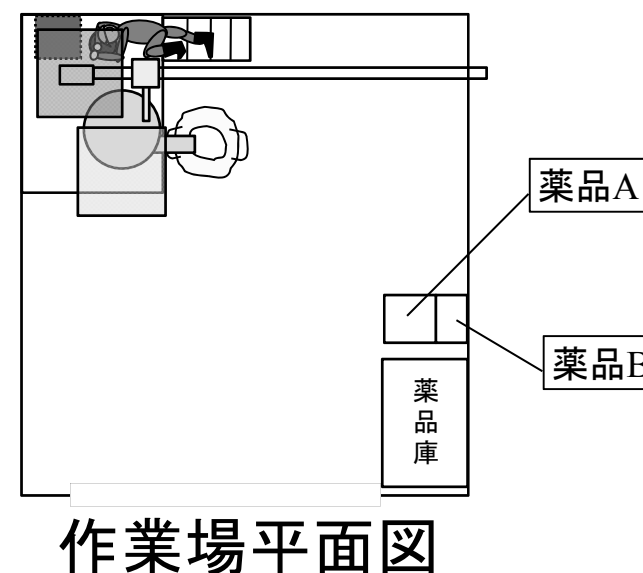
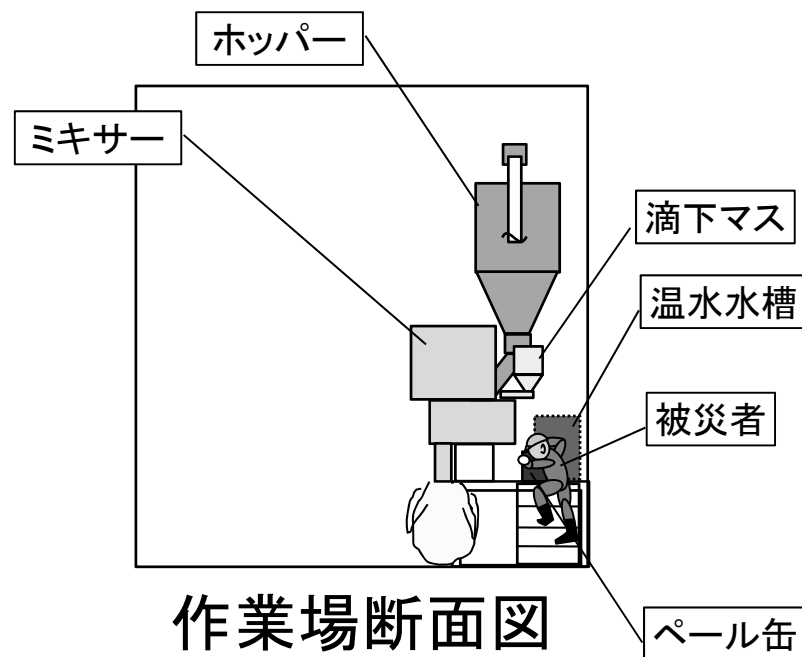
～2017年～

事例No.	発生日	事故の型
No.1	2017年2月12日	有害物質との接触
No.2	2017年2月27日	墜落・転落
No.3	2017年3月29日	墜落・転落
No.4	2017年4月23日	挟まれ・巻き込まれ
No.5	2017年7月13日	飛来・落下
No.6	2017年8月27日	挟まれ・巻き込まれ

※2017年の重大災害のうち、現時点でなお調査継続中の案件については、掲載していない。

No.1 2017年2月12日 有害物質との接触

状況 ダスト処理のため薬品溶解作業中に被災（硫化水素中毒）



原因 二種類の薬品 (NaSH 及び FeSO_4) を混ぜてしまった
二種類の薬品を同一作業場で使用していた

対策 薬品を一種類に統一
薬品に関する教育方法の見直し

No.2 2017年2月27日 転落

状況 高所作業車からの降車時 1. 2Mの高さで

ステップを踏み外し 転落し、頭部を強打した。



転落の再現

後ろ向きで
足の踏み外し

転落の再現
ヘルメットは
足元に飛来



原因 ①手摺を掴まなかった(持つ手が滑った)。: 推定

②手元、足元の確認が不十分であった。: 推定

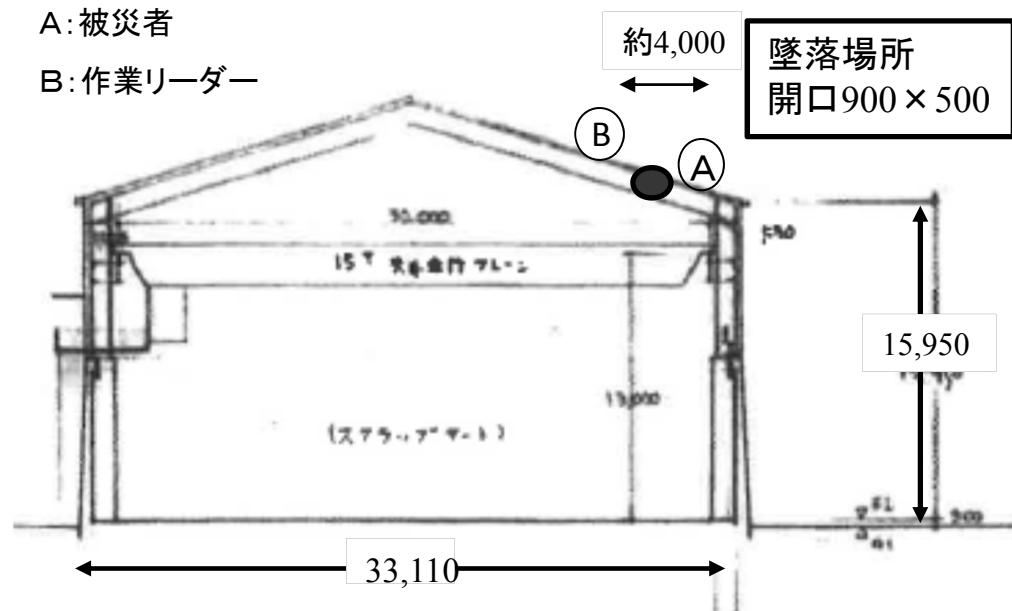
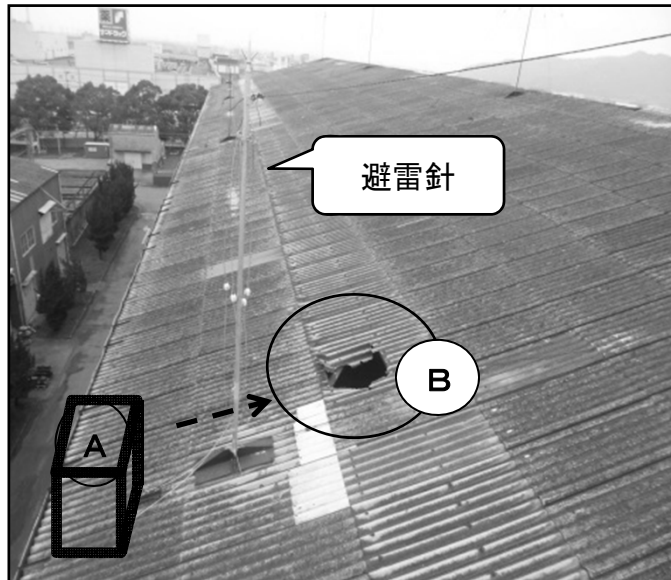
③転落時 保護具(ヘルメット)が脱げた。

対策 ①階段・ステップ昇降時の3点支持の励行

②安全保護具(ヘルメットのアゴ紐)の正しい着装

No.3 2017年3月29日 墜落・転落

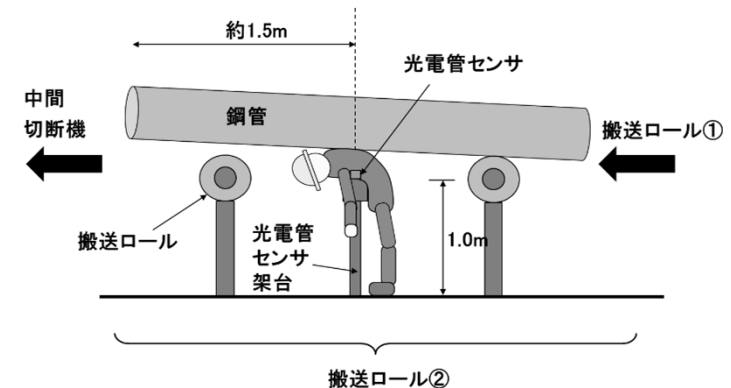
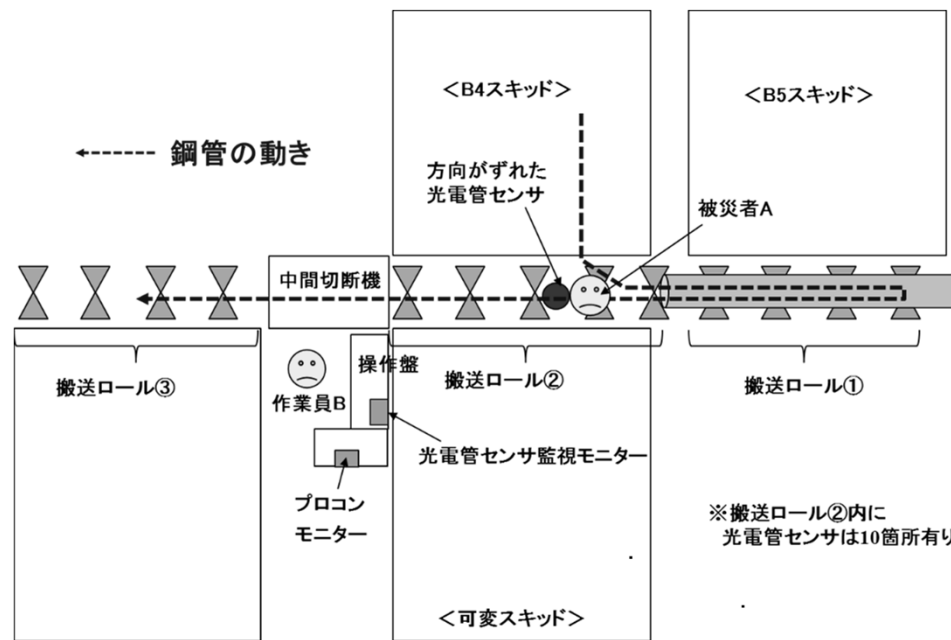
【状況】 避雷針補修作業中、明り取りを踏み抜き墜落



原因 安全帯を使用せず、移動した
対策 屋根上の足場板設置の徹底
作業変更時の報告の徹底とKYの実施

No.4 2017年4月23日 挟まれ・巻き込まれ

【状況】 光電管調査中に、搬送ロール上を動いた鋼管に挟まれる



鋼管サイズ:
外径508.0mm
板厚23.8mm
長さ18679mm
重量約5.3トン

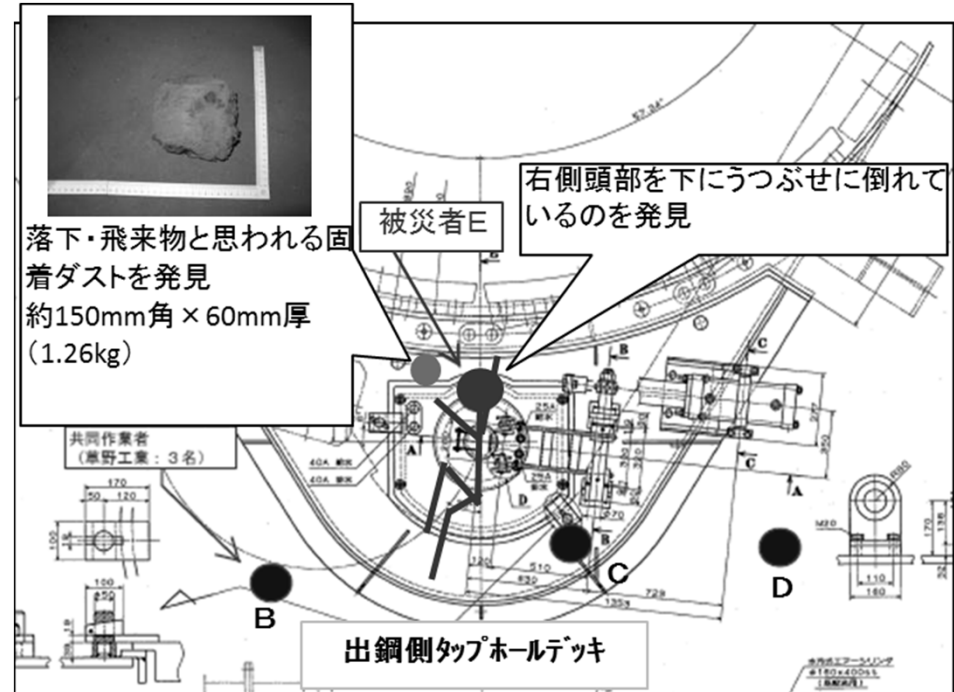
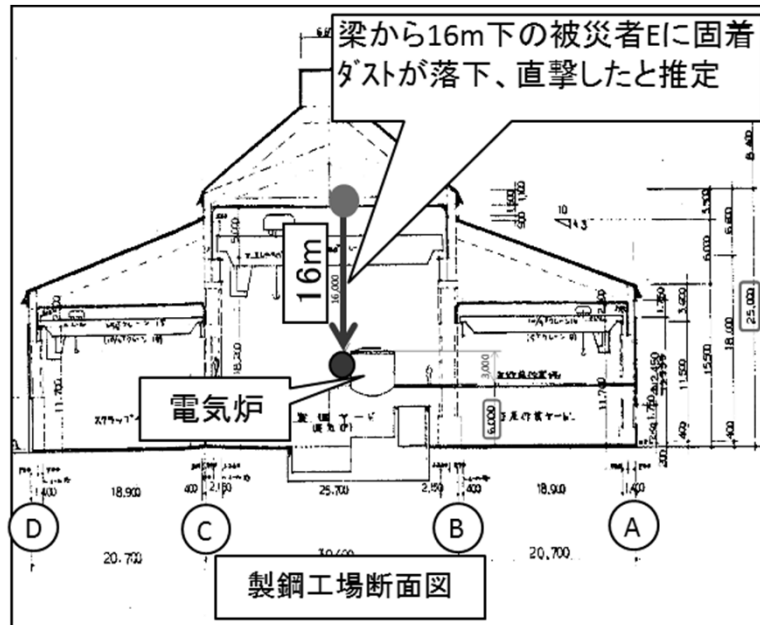
【原因】 電源を切らずに自動運転中の設備内に入って作業した

【対策】 ライン内立入時の安全対策強化

(立入手順の力量認定、エリアセンサによる非常停止)

No.5 2017年7月13日 飛来・落下

状況 冷却水ホース交換作業中に、
上部梁の固着ダストが頭部に落下。



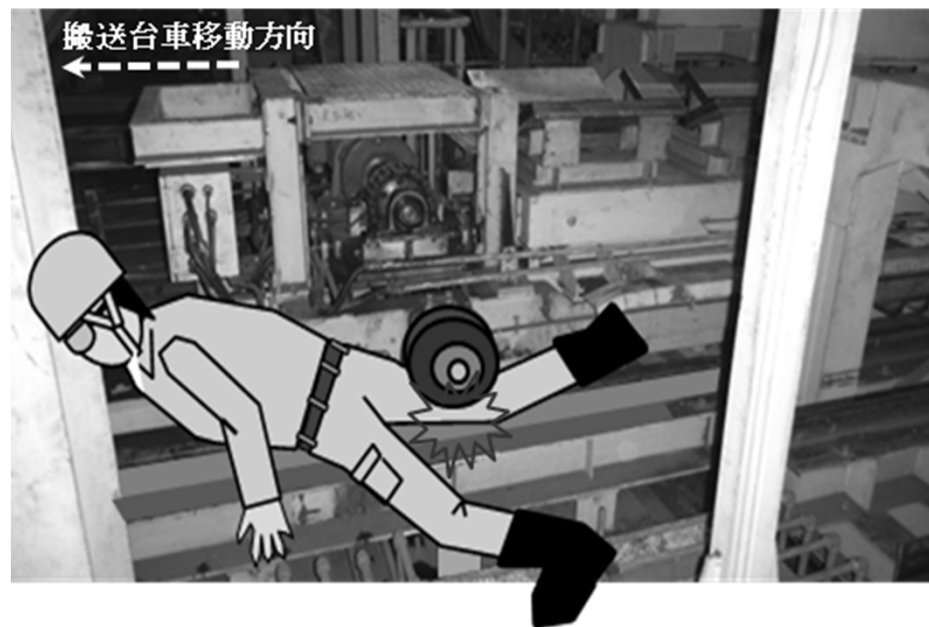
原因 上部梁下面でのダスト付着・堆積

対策 上部梁付着ダスト等の点検・清掃

上記以外の飛来・落下物有無の日常点検(水平展開)

No.6 2017年8月27日 挟まれ・巻き込まれ

状況 搬送台車の可動範囲に立ち入り、台車に挟まれた



原因 安全処置をせずに設備可動範囲内に立ち入った

対策 可動エリアへの立ち入り手順を明確化し、遵守を徹底する

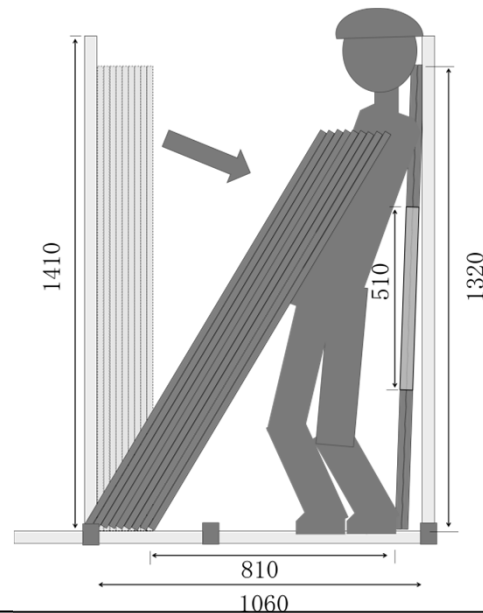
～2018年～

事例No.	発生日	事故の型
No.1	2018年2月13日	崩壊・倒壊
No.2	2018年3月3日	墜落・転落
No.3	2018年4月 5日	挟まれ・巻き込まれ
No.4	2018年4月14日	有害物等との接触
No.5	2018年7月25日	墜落・転落
No.6	2018年10月22日	墜落
No.7	2018年11月12日	挟まれ・巻き込まれ

※2018年の重大災害のうち、現時点でなお調査継続中の案件については、掲載していない。

No.1 2018年2月13日 崩壊・倒壊

状況 帯鋼成形作業の準備中にフープ材が倒れ、身体を挟まれた



【フープ材寸法】 5mm厚 × 20mm幅 ×
外径Φ1320mm × 内径Φ510mm × 9束

【フープ材重量】 1620kg (180kg × 9束)

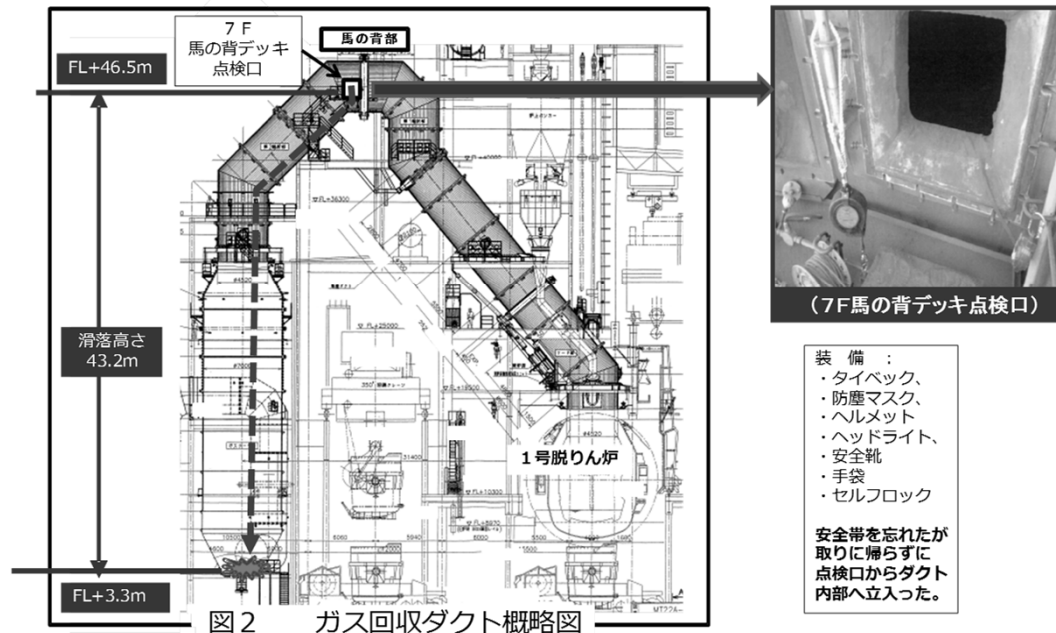
原因 フープ材を置く際に転倒防止処置をしなかった

対策 転倒防止処置(差し込み式の転倒防止棒の設置やフープ材置台に傾斜をつける)を行う

置台の外周を安全柵で囲い、立入禁止範囲として管理する

No.2 2018年3月3日 墜落・転落

状況: ガス回収ダクト内部の清掃作業中に墜落した。



原因: ①安全帯を装着せずにダクト内へ立ち入った。

②ダクト点検口に「墜落の危険あり」の注意喚起表示がなかった。

対策: ①安全帯着用の再教育、作業中における安全帯着用の義務付け。

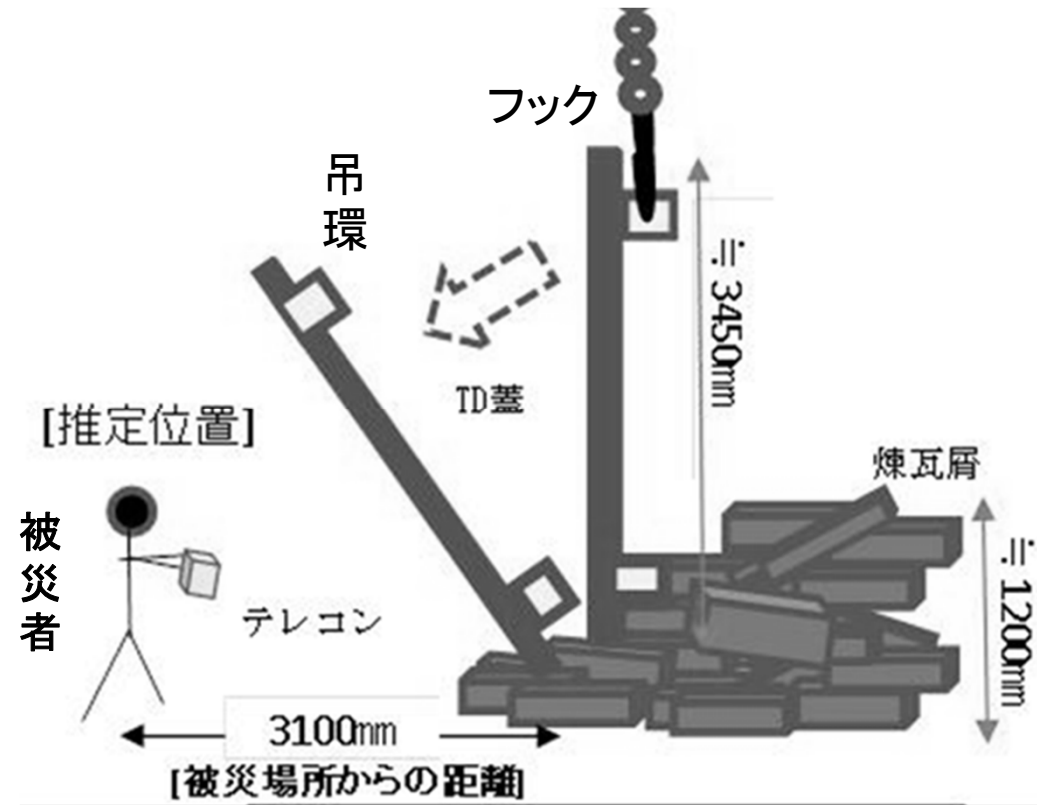
②墜落・転落リスクがある点検口への注意喚起・立入禁止の表示。

③当該点検口に格子状の柵を取り付け。

④ダストが堆積しないような設備改造(ダクト内部の清掃作業の廃止)

No.3 2018年4月5日 挟まれ・巻き込まれ

状況 フックがタンディッシュ蓋の吊環から外れ下敷きになった。

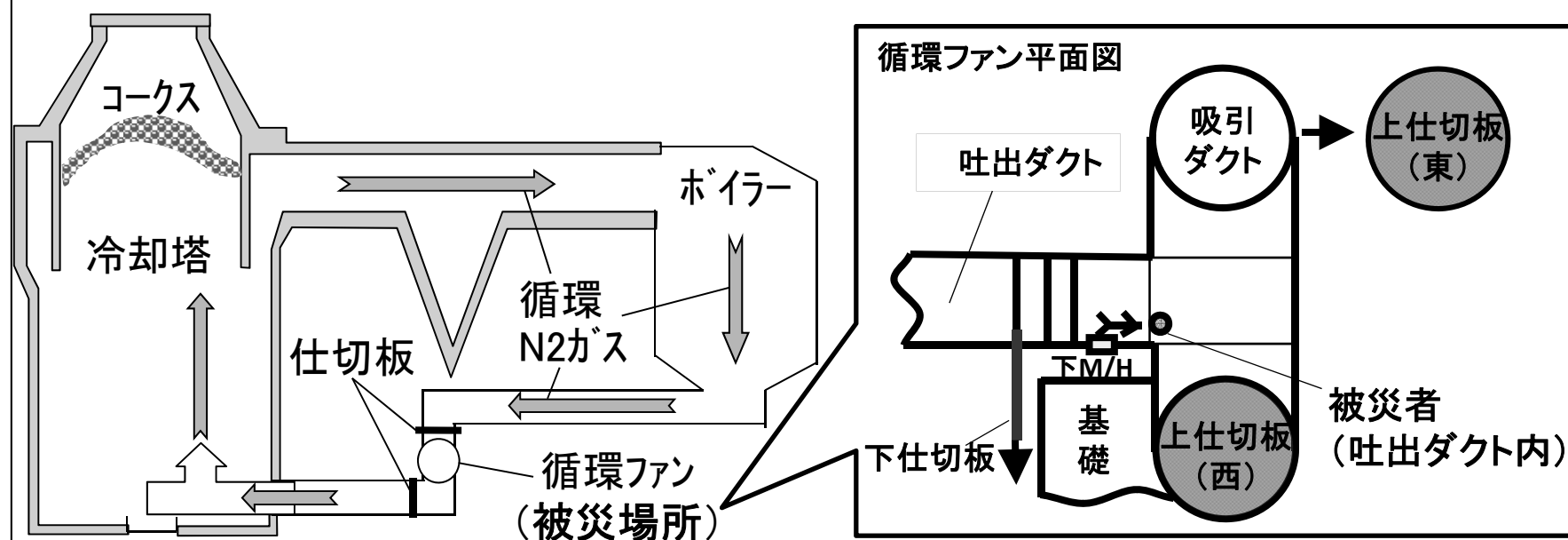


原因 吊環からフックが外れたこと及び被災者が吊荷から十分な退避距離を取れていなかった。

対策 適切な吊具の使用と吊荷に対し十分な退避距離を取る。

No.4 2018年4月14日 有害物等との接触

状況 循環ファンバランス修正作業完了後、
ダクト内にて窒素雰囲気と接触

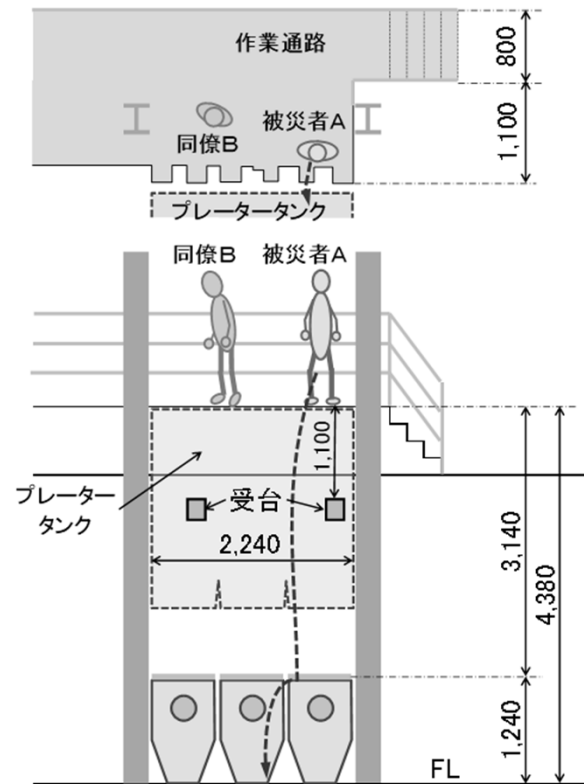


原因 仕切板取外し中、ダクト内に立ち入った

対策 ①酸欠危険場所における厳格な作業管理
②酸欠の危険性・有害性に対する教育の徹底

No.5 2018年7月25日 墜落・転落

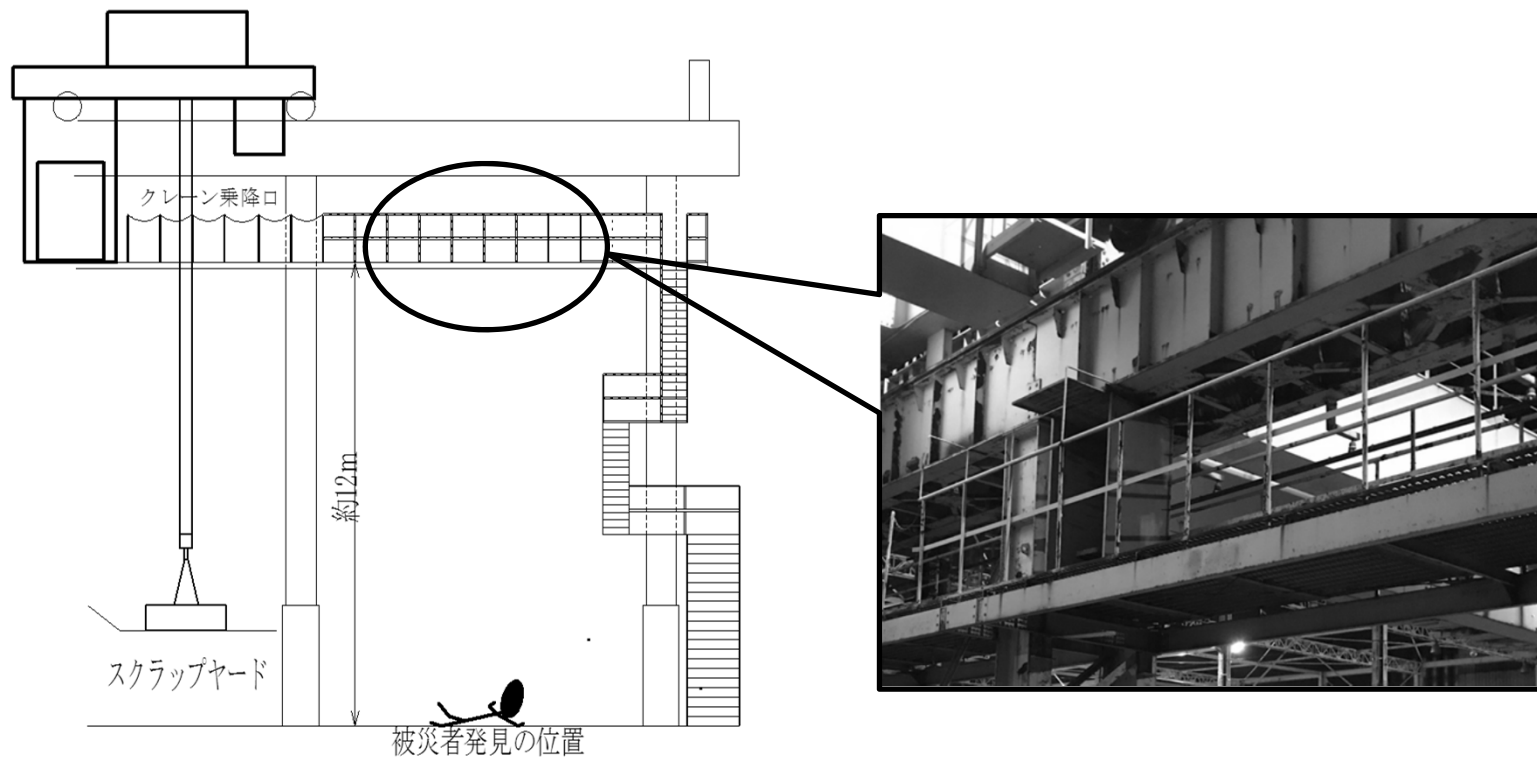
状況 タンク取替工事中、開口部から墜落した



原因 安全帯を着用せずに高所に上がり、開口部に近づいた
対策 高所作業、開口部作業では安全帯の使用を厳守する

No.6 2018年10月22日 墜落

状況 天井クレーンに向かう途中、墜落

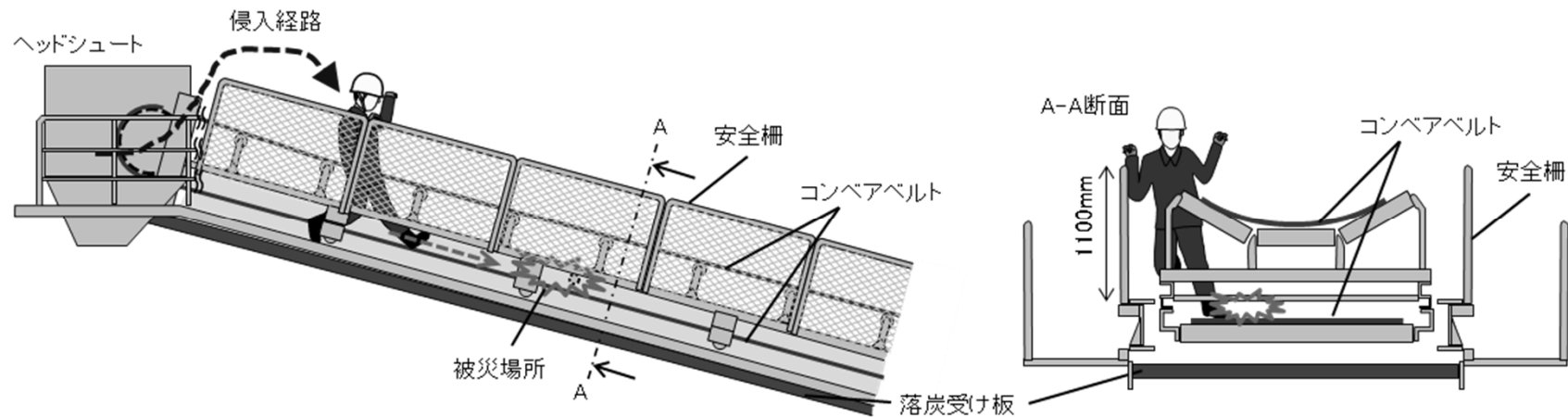


原因 現認者がいないため不明

対策 手摺中棧を二段に増設

No.7 2018年11月12日 挟まれ・巻き込まれ

状況 スタッカーの落炭清掃作業中、コンベア内に立ち入り
挟まれた



原因 非可動処置を行わず、安全柵を乗り越えて可動範囲に立ち入った
対策 可動範囲に立ち入る際は非可動処置を徹底する